

TAKE
FREE

第1回新レコード・アカデミー賞結果発表!!

クラシック音楽メディアのポータルサイト

レコード芸術

The Record Geijutsu

ONLINE

FREE MAGAZINE

202601



BEE1H0VEN

THE COMPLETE VIOLIN SONATAS

VIOLIN SHUNSKU SATO SHUANN CHAI FORTEPIANO

COBRA RECORDS

BEE1H0VEN
[コブラ (D) COBRA0094S (3枚組)]

CONTENTS

- 02 【特報】第1回 新レコード・アカデミー賞 結果発表!
- 05 【レコード芸術 ONLINE 新譜月評】2025年12月の特選タイトル一覧+批評抜粹
- 07 【レコード芸術 ONLINE】2025年11月25日～12月14日更新の記事一覧

レコード芸術 ONLINE はこちらから→



制作：「レコード芸術 ONLINE」編集部

レコード芸術 ONLINE、フリーマガジン第5号です。 掲載記事2,000本*突破！ぜひ有料会員登録をご検討ください♪

音楽之友社が運営するポータルサイト『レコード芸術 ONLINE』編集部のフリーマガジンです。

第5回の今号には、第1回新レコード・アカデミー賞の受賞ディスク一覧と、2025年12月の【新譜月評】特選タイトル一覧+批評抜粋、直近1ヶ月の記事一覧を収録しました。

本サイトは月額1,100円（税込）。無料コンテンツも続々。クラシック音楽メディアの芸術史を未来へつなげる批評の場、そして現在を記録・発信する情報の場として、日々更新を続けています。

* 2024年10月からの累計。新譜月評のディスクページを含む。2025年12月15日現在

「レコード芸術 ONLINE」編集部

ご契約から最初2ヶ月間が100%OFFとなる「年間契約プラン」を開始しました。

詳細は右側のQRコードから♪

レコード芸術 ONLINE はこちらから♪

←の有料会員お申込みページはこちらから♪



<https://recogei.ontomo-mag.com/>



<https://recogei.ontomo-mag.com/order/>

【特報】第1回 新レコード・アカデミー賞 結果発表！

企画趣旨

1963年度から2022年度まで、60回にわたり実施された「レコード・アカデミー賞」は、日本のクラシック音楽文化、とりわけ録音芸術の発展に大きく寄与してきました。その伝統を受け継ぎつつ、新たな時代における録音芸術の姿を映し出すことを目的に、「新レコード・アカデミー賞」を創設いたします。音楽の楽しみ方が多様化する現代において、優れた録音・演奏・企画を顕彰し、クラシック音楽の未来を展望するものです



第1回新レコード・アカデミー賞ロゴ

選定委員 ※五十音順、敬称略

選定委員長：満津岡信育（音楽評論）
相場ひろ（フランス文学）、飯田有抄（クラシック音楽ファシリテーター）、白石美雪（音楽学）、長木誠司（音楽学）、那須田務（音楽評論）、広瀬大介（音楽学）、船木篤也（音楽評論）、増田良介（音楽評論）、山崎浩太郎（演奏史譚）、山之内正（オーディオ評論）

賞の種別

- ・大賞、大賞銀賞、大賞銅賞
- ・部門賞（オーケストラ曲、室内楽／器楽曲、鍵盤曲、オペラ／声楽曲、音楽史、現代曲／ポスト・クラシカル）
- ・特別部門（企画／制作、配信）

審査対象

「レコード芸術 ONLINE」の2024年10月号（創刊号）～25年9月号の新譜月評で「推薦」となったディスクおよび配信作品

審査方法 ※特別部門は選定委員の鼎談・対談形式で選出

- ・第一次選定：新譜月評執筆者全員による年間ベスト（部門賞候補作品）の選出
- ・第二次選定：部門賞の選定。各部門につき2名の選定委員の合議により、計6部門を選出
- ・第三次選定：大賞の選定。部門賞から大賞、大賞銀賞、大賞銅賞を選定委員の投票により決定

発表日程 ※いざれも「レコード芸術 ONLINE」上で発表しています

2025年12月1日（月）年間ベスト発表

2025年12月8日（月）部門賞発表

2025年12月19日（金）大賞、大賞銀賞、大賞銅賞発表

2025年12月22日（月）特別部門発表

大賞・部門賞・特別部門の選定理由はこれら（概要ページ）

ページ内に、結果発表ページへのリンク集を設置しています♪



<https://recogei.ontomo-mag.com/article/news/p-33483/>

大賞・部門賞 ※特記のないものは通常 CD です

大賞 室内楽／器楽曲部門

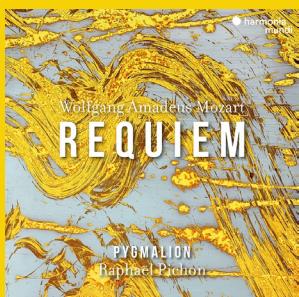


佐藤俊介 (vn) スーアン・チャイ (fp)

BEE1H0VEN

[コブラ (D) COBRA0094S (3枚組)]

大賞銀賞 オペラ／声楽曲部門



ピジョン指揮ピグマリオン
モーツアルト：レクイエム
[Harmonia Mundi (D) HMM902729 (海外盤)]

大賞銅賞 オーケストラ曲部門



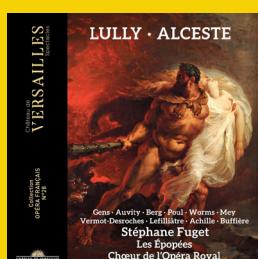
コバチンスカヤ (vn) カメラータ・ベルン, 他
エグザイル
[アルファ (D) NYCX10503]

鍵盤曲部門



アヴデエワ (p)
ショスタコーヴィチ:24 の前奏曲とフーガ(全曲)
[PentaTone (D) PTC5187480 (2枚組, 海外盤)]

音楽史部門



フュジュー指揮レゼボー, 他
リュリ：抒情悲劇《アルセスト》全曲
[Chateau de Versailles (D) CVS149 (3枚組, 海外盤)]

現代曲／ ポスト・クラシカル部門



アンサンブル・モデルン, 他
クラウス・オスパルト／書いた…～器楽作品集
[バッティーユ・ミュジック (D) SBM033]

特別部門 [企画／制作] ※特記のないものは通常 CD です



A



B



C

**TOWER
RECORDS**

D

- A. デジレ = エミール・アンゲルブレシュト／エラート録音全集 [Erato (M/S) 2173251689 (16枚組, 海外盤)]
- B. 究極の SACD ハイブリッド・コレクション第 12 回 (3 タイトル) 「ソニー・クラシカル」いずれも SACD ハイブリッド
- C. アンドリス・ネルソンス指揮ボストン so／ショスタコーヴィチ／交響曲全集, 協奏曲集, 歌劇《ムツェンスク郡のマクベス夫人》[DG (D) 4866649 (19枚組, 海外盤)]
- D. 「クラシック・タワーレコード企画盤」シリーズ〔タワーレコード〕



特別部門 [配信]

ヤクブ・フルシャ指揮バンベルク交響楽団, キム・ボムソリ (vn)
ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番, ベートーヴェン：交響曲第7番
 〈収録：2025年6月1日〉 [Stage +] 配信

新譜月評執筆者全員による年間ベスト (部門賞候補作品) (順不同) ※特記のないものは通常 CD です

- ①マケラ指揮オスロ po／ショスタコーヴィチ：交響曲第4番～第6番 [デッカ] (金子建志・選)
- ②フラング (vn) ティチアーティ指揮ベルリン・ドイツ so／エルガー：ヴァイオリン協奏曲, 他 [ワーナー・クラシックス] (岡部真一郎・選)
- ③グロメス (vc) シレンコ指揮ウクライナ国立 so／ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 他 [ソニー・クラシカル] (大津聰・選)
- ④メツツマッハ指揮 SWRso／ストラヴィンスキイ：管楽器のための交響曲, 交響曲ハ調 他 [SWR MUSIC] (後藤洋・選)
- ⑤コパチンスカヤ (vn, 指揮) カメラータ・ベルン／エクザイル [アルファ] (矢澤孝樹・選)
- ⑥グリフィス／ブレイエル：交響曲第18番, 同第21番, ヴィオラ協奏曲 [cpo] (安田和信・選)
- ⑦エッセル (p, 指揮) / 錬金術師ラヴェル [Mirare] (野平多美・選)
- ⑧ルイージ指揮 NHKso／ブルックナー：交響曲第8番 (ノーヴァク版第1稿) [エクストン] SACD ハイブリッド (満津岡信育・選)
- ⑨バッパー／指揮ロンドン so／ラヴェル：《ダフニスとクロエ》全曲 [LSO Live] SACD ハイブリッド (八木宏之・選)
- ⑩サバール／忘れられた交響曲集 [Alia Vox] SACD ハイブリッド (鈴木淳史・選)
- ⑪佐藤俊介 (vn) スーラン・チャイ (fp) / BEE1H0VEN [コブラ] (相場ひろ・選)
- ⑫ケラス (vc) / J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 (全曲) [ハルモニア・ムンディ] (山崎浩太郎・選)
- ⑬中木健二 (vc) / ラ・フォリア～狂気のチェロ [キングレコード] (山野雄大・選)
- ⑭菅きよみ (fl) トラヴェルソ) / J.S.バッハ：フルート・ソナタ BWV.1030, 1032, 1034, 1035 [OMF] (西村祐・選)
- ⑮ソリマ (vc) / アル＝ブンドウキーヤ～ザ・リスト・コンセルト [エラート] (布施砂丘彦・選)
- ⑯イブラギモヴァ (vn) & ティベルギアン B (p) / シューマン：ヴァイオリン・ソナタ第1番～第3番 [ハイペリオン] (船木篤也・選)
- ⑰クレーメル (vn) / ショスタコーヴィチ・ディスカヴァリーズ [DG] (増田良介・選)
- ⑱笛沼樹 (vc) 上田晴子 (p) / 夜と光の出会いうところ [ALM] (石原立教・選)
- ⑲スーパー・チャイ (fp) / 即興演奏 [コブラ] (谷戸基岩・選)
- ⑳ペルフウェルフ (org) / J.S.バッハ：トリオ・ソナタ第1番～第6番 [Challenge Classics] SACD ハイブリッド (山之内正・選)
- ㉑リュビモフ (p) / ブラームス幻想曲集 [NIFC] (鷺野彰子・選)
- ㉒桑原志織 ピアノ・リサイタル [カメラータ] (飯田有抄・選)
- ㉓渡邊順生 (cemb) / J.S.バッハ：7つのトッカータ BWV.910～916 [ALM] (那須田務・選)
- ㉔アヴデーエワ (p) / ショスタコーヴィチ：24の前奏曲とフーガ (全曲) [PentaTone] (新野見卓也・選)
- ㉕鈴木愛美 ピアノ・リサイタル [オーキッド・クラシックス] (長井進之介・選)
- ㉖リュリ：抒情悲劇《アルセスト、またはアルシードの勝利》全曲 [Chateau de Versailles Spectacles] (美山良夫・選)
- ㉗クラウス・オスバルト：書いた～器楽作品集 [バステイユ・ミュジック] (白石美雪・選)
- ㉘口ト指揮レ・シエルク, ファウスト (vn) 他 リゲティ／協奏曲集 [Harmonia Mundi] (沼野雄司・選)
- ㉙ライヒ：ジェイコブス・ラダー, トラベラーズ・プレイヤー [ノンサッチ] (小室敬幸・選)
- ㉚マルコン / J.S.バッハ：ミサ曲口短調 [Arcana] (國土潤一・選)
- ㉛ビション指揮ビッグマリオン／モーツアルト：レクイエム [Harmonia Mundi] (小宮正安・選)
- ㉜フィオーレ指揮ベッリーニ：歌劇《ノルマ》全曲 [Prima] (小畠恒夫・選)
- ㉝アップル (Br) クルターグ (p) / それぞれの天職～シューベルト & クルターグ歌曲集 [Alpha] (松平敬・選)
- ㉞ブレヴィニャク指揮／ツインガレッリ：歌劇《ジュリエッタとロメオ》全3幕 [Chateau de Versailles Spectacles] DVD+BD (水谷彰良・選)
- ㉟ガードナー／ワーグナー：歌劇《さまよえるオランダ人》全曲 [Decca] (広瀬大介・選)
- ㉟フィッシャー=ディースカウ未発表ライヴ録音集 1960～1971 [Somm Recordings] (喜多尾道冬・選)
- ㉞ユロフスキ指揮バイエルン国立歌劇場／プロコフィエフ：歌劇《戦争と平和》全曲 [BSO レコーディングス] BD (長木誠司・選)
- ㉙コジェナー (Ms) 内田光子 (p) / 夢ごこち～ドビュッシー & メアン歌曲集 [PentaTone] (城所孝吉・選)
- ㉙プラット (S) / Indomita [PentaTone] (河野典子・選)

【レコード芸術 ONLINE 新譜月評】

2025年12月の特選 タイトル一覧

※特選 = ダブル評を行ったもので、
2名とも「推薦」評価
※筆者は五十音順、敬称略
※特記のないものは通常CDです



それぞれの批評は、
有料会員限定コンテンツとして
「レコード芸術 ONLINE」上でお読みいただけます♪

https://recogei.ontomo-mag.com/disc_review/backnumber/202512/

●オーケストラ曲

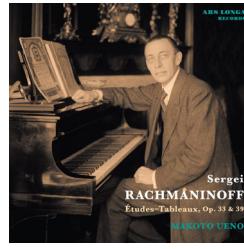
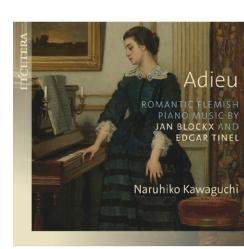
	<p>シェーンベルク作品集 キリル・ペトレンコ指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン放送合唱団、他 [ベルリン・フィル・レコードィングス (D) BPHR250511 (3CD + BD, 海外盤)]</p> <p>♪ライヴだが [...] 楽器のバランスや解像度はすこぶるよい。《室内交響曲》のような小編成の作品だけではなく、《ヤコブの梯子》のような巨大な編成でもそれは変わらない [...] 演奏は、もう何をか言わんやである…… (長木)</p> <p>♪どの作品も、こうした豊かさと綽緻とした余裕によって、現代のコンサートシーンにフィットした「普通の20世紀古典曲」として鑑賞できる…… (船木)</p>
	<p>ショスタコヴィチ:交響曲第1番, 同第3番《メーデー》, 2つのスケルツォ ヨーン・ストルゴーズ指揮 BBC フィルハーモニック、ハレ合唱団 [Chandos (D) CHAN20398 (海外盤)]</p> <p>♪今回のディスクは、交響曲第1番と第3番、それに2つの《スケルツォ》と、初期作品ばかりを集めている。どの曲もキレ味抜群の快演だ。最初に入っている2つの《スケルツォ》からとても良い…… (増田)</p> <p>♪交響曲第1番は、第1楽章からテンポ設定が遅めであるが [...] 指揮者本人が“作品全体の綿密なテンポ設定を鑑みて臨んでいる”と語っていたように、巧みにテンポを切り替えているのが特徴的…… (満津岡)</p>
	<p>モーツアルト:交響曲第35番《ハフナー》, 同第36番《リンク》, ヴァイオリン協奏曲第3番 マキシム・エメリヤニchef指揮イル・ボモ・ドーロ、アイレン・プリッチン (vn) [aparté (D) AP349 (海外盤)]</p> <p>♪この指揮者・オーケストラの組み合わせによるモーツアルトも、すでに第3弾。はつらつとした音楽の魅力は、前の録音に比べても、はるかに洗練の度合いを増しているように感じられる…… (広瀬)</p> <p>♪プリッchinのソロが最も目を引くだろう。モダン楽器との両刀遣いである多くの奏者がそうであるように、既存のピリオド楽器の方法論を是々非々で取り込んでいるため、必然的にタブーなしの多彩な表現を聴くことができる…… (安田)</p>
	<p>響 芥川也寸志の音楽世界 本名徹次指揮 日本フィルハーモニー交響楽団、坂入健司郎指揮 新交響楽団、他 [キングレコード (D) KICC1635]</p> <p>♪芥川の作品5曲を収めるが、新録音は2曲だけで、残りは再発売だ。とはいえばその2曲がたいへん価値の高いものなので、ファンなら聴き逃せないアルバムとなっている。世界初録音となる《弦楽四重奏曲》は非常に貴重だ…… (増田)</p> <p>♪2025年は、芥川也寸志の生誕100年の記念年であったが、ようやく特筆すべきディスクが登場した。旧『レコード芸術』誌であれば、“干天の慈雨”といった表現が使われたのではないだろうか…… (満津岡)</p>

●室内楽・器楽曲

	<p>J.S.バッハ／ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ集 イリア・グリンゴルツ (vn) フランチェスコ・コルティ (cemb) [アルカナ (D) NYCX10553 (2枚組)]</p> <p>♪ソナタ第2番 (CDの収録はこの曲から始まる) が始まったとたん、その自然で伸びやかな音と演奏ぶりに、何の抵抗もなく素直に引き込まれる [...] 言ってみればとてもセンスが良く、演奏者の作為をほとんど感じさせないので…… (石原)</p> <p>♪かつての天才少年も今や40歳台、円熟の時期を迎えた [...] 興味深いのは、この第6番の初期稿の第1楽章と第2楽章、現代の作曲家マッキントッシュの世界初録音が併録されていること…… (那須田)</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

 <p>NUANCE The Nadelman harp speaks Masumi Nagasawa Harp</p>	<p>NUANCE ~ナーデルマン・ハープは語る 長澤真澄 (hp) [Acoustic Revive (D) AR1010]</p> <p>♪名匠ナーデルマン親子の2台のピリオド・ハープを使用しての録音で貴重な1枚と言えるだろう [...] モダン・ハープとはペダル奏法や運指法等々でのテクニックが異なり、長澤はこの楽器の演奏のために一から学習したらしい…… (草野)</p> <p>♪美しいアルバムだ。フランスのナーデルマン工房は、マリー・アントワネットの楽器を製作したことで知られる [...] これらの楽器の姿と同様、音色も演奏も優美だ [...] 楽器から無理なく美しい音色を引き出している…… (那須田)</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●鍵盤曲

 <p>LANG LANG PIANO BOOK 2</p>	<p>ピアノ・ブック2 ラン・ラン (p) [グラモフォン (D) UCCG1904 ~ 5 (2枚組)]</p> <p>♪ラン・ランには、華やかなスター性と、作品にまっすぐに向き合う誠実さとが同居している。本作『ピアノ・ブック2』はまさに、彼のそうした2つの面を最良の形で示すアルバムだ…… (飯田)</p> <p>♪昨今ピアノの小品集が人気だ。もしかしたらそのブームの口火を切ったのは、ラン・ランの『ピアノ・ブック』かもしれない [...] その反響の大きさから、パート2が録音された…… (那須田)</p>
 <p>SCHUBERT Eric Lu Allegretto D.915</p>	<p>シューベルト：ピアノ・ソナタ第14番、同第20番、アレグレット エリック・ルー (p) [ワーナー・クラシックス (D) WPCS28509] SACDハイブリッド</p> <p>♪2025年のショパン国際ピアノコンクールで、エリック・ルーは10年ぶりの再挑戦を実らせ、ついに優勝を手にした [...] その力はじつは2022年に収録された本アルバムにも、すでに鮮明に刻まれている…… (飯田)</p> <p>♪彼にとってもう一人、非常に重要な作曲家としてあげるべき存在がシューベルトである [...] 彼の透明感のある音色、ニュアンスの多彩さ、ピアノを“歌わせる”技術は [...] 技術の相性を見せてくれる…… (長井)</p>
 <p>Sergei Rachmaninoff Etudes-Tableaux, Op. 33 & 39 Makoto Ueno</p>	<p>ラフマニノフ：絵画的練習曲集 Op.33, 39 (全17曲) 上野真 (p) [Ars Longa (D) AL004]</p> <p>♪偉大な作品の前に虚飾や自己顯示は完全に不要であるという強い信念が音を通して伝わってくる [...] レパートリーは幅広いが、やはりロマン派の作品演奏における歌心と精緻なピアニズムは卓越したものがある…… (長井)</p> <p>♪これほどアカデミックなラフマニノフにはなかなかお目にかかるないだろう。上野真はこのヴィルトゥオーゾのための練習曲集の姿を明快に示してみせる。楽譜が見えるような演奏というのはこういうことを言うのだろう…… (新野見)</p>
 <p>Adieu ROMANTIC FLEMISH PIANO MUSIC BY JAN BLOKKX AND EDGAR TINEL Naruhiko Kawaguchi</p>	<p>別れ～フランダース・ロマン派 川口成彦 (p) [エトセトラ (D) JKTC1840]</p> <p>♪川口は敢えてこのふたりの作品に対しての使用ピアノを、ティネルを1857年製のブリュートナー、ブロッキスを1873年製のプレイヤーとして、ヒストリカルピアノ奏者としてのこだわりを示している…… (飯田)</p> <p>♪19世紀末ベルギーのフランダース音楽は、いまだ日本では周縁的な存在だが、川口成彦は前作『月の光に』に続き、この独特の文化圏の作曲家たちに再び光を当てた…… (草野)</p>

●現代曲／ポスト・クラシカル

 <p>Did it again GENUIN</p>	<p>Did it again 久末航 (p) [ゲヌイン (D) SGEN25944]</p> <p>♪久末航といえば2025年のエリザベート王妃国際コンクールピアノ部門での第2位入賞が記憶に新しい。彼がフランスの現代作曲家パスカル・デュサパンの作品をまとめたアルバムをリリースしたのはちょっと意外な選曲にみえる…… (白石)</p> <p>♪感嘆したのは、なにより演奏の久松航の丁寧さ。それぞれの部分のダイナミクス、音価、そして響きが周到に練られており、奇数系の曲での響きの澄み方、そして偶数系の曲でのリズムの切れ味はいずれも尋常ではない…… (沼野)</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※今月は、オペラ／声楽曲、音楽史、その他の特選作品はございません。

[2025年12月の新譜月評執筆者一覧]

※五十音順、敬称略

相場ひろ 飯田有抄 石原立教 小畠恒夫 岸純信 喜多尾道冬 城所孝吉 草野次郎 河野典子 國土潤一
後藤洋 小宮正安 小室敬幸 白石美雪 鈴木淳史 長木誠司 長井進之介 那須田務 新野見卓也 西村祐
沼野雄司 野平多美 広瀬大介 布施砂丘彦 船木篤也 増田良介 満津岡信育 松平敬 水谷彰良 美山良夫
八木宏之 矢澤孝樹 安田和信 谷戸基岩 山崎浩太郎 山野雄大 山之内正 芳岡正樹 鶩野彰子

【レコード芸術 ONLINE】

2025年11月25日～12月14日更新の記事一覧

※有料会員限定コンテンツを含みます

注目記事

〔お知らせ〕【特報】第1回新レコード・アカデミー賞 概要発表

〔第1回新レコード・アカデミー賞〕年間ベスト その1「オーケストラ曲部門」

〔第1回新レコード・アカデミー賞〕年間ベスト その2「室内楽曲／器楽曲部門」

〔第1回新レコード・アカデミー賞〕年間ベスト その3「鍵盤曲部門」「音楽史部門」「現代曲／ポスト・クラシカル部門」

〔第1回新レコード・アカデミー賞〕年間ベスト その4「オペラ／声楽曲部門」

〔第1回新レコード・アカデミー賞〕第1回「新レコード・アカデミー賞」部門賞 発表！

※大賞・大賞銀賞・大賞銅賞は12月19日、特別部門は22日に発表

〔お知らせ〕【2025年12月リリース予定】クラシック音楽新譜 発売情報

〔お知らせ〕「不滅の名盤」特設コーナーに、25点を追加しました！

〔お知らせ〕最初2ヶ月無料の年間契約プランをはじめました！

〔お知らせ〕【レア求人】一緒に働いていただける方を募集しています！

〔2025年11月新譜月評〕音楽史、現代曲／ポスト・クラシカル、その他

〔2025年12月新譜月評〕オーケストラ曲、室内楽／器楽曲

※「鍵盤曲」「オペラ／声楽曲」は12月17日、「音楽史」「現代曲／ポスト・クラシカル」「その他」は24日更新

〔最新盤レビュー〕健康的なマーラー！？バッティストーニ×東京フィル《交響曲第7番》ライヴ盤が登場 | 本田裕暉

〔最新盤レビュー〕リイシュー＆BOX 注目盤（11月）

〔インタビュー〕チェリスト、上野透明が再発見した“日本”アルバム『オリジン』ができるまで | 山野雄大

〔インタビュー〕バッティストーニ、マーラー《夜の歌》を語る | 河野典子

〔生誕150周年フリット・クライスラー〕フリット・クライスラーの録音 ほとばしる生気の記録 | 畑野小百合

〔生誕150周年フリット・クライスラー〕10人の名ヴァイオリニストによるヴァイオリン小品集の世界 | 芳岡正樹

特別企画 | 編集部員のひとりごと #2

〔連載〕プレルーディウム 第15回 嘆きの歌 | 船木篤也

〔連載〕週刊フィッシュヤードイースカウ Nr.41～43 | 吉田真

〔連載〕臨時増刊 1987年DFD来日時インタビュー再録 | 喜多尾道冬

〔レコ芸アーカイブ〕新・レコードつれづれぐさ【最終回】第十五回（1984年9月号）マーラー／交響曲第九番 | 柴田南雄

ONTOMO MOOK 新刊予告

ONTOMO MOOK 別冊付録：レコード・イヤーブック2026 『レコード芸術ONLINE』編

レコード芸術2026

予価 2,750 円 (本体 2,500 円)

ISBN978-4-276-96382-5

2026 年 1 月 29 日 (木) 発売

2024年10月1日、かつての月刊誌『レコード芸術』がWEBメディア『レコード芸術 ONLINE』として復活した。開始から1年あまりが経過した今、紙媒体のムック『レコード芸術』として1冊にまとめる。

本誌のメイン企画は『レコード芸術 ONLINE』で開催される「新レコード・アカデミー賞」。賞の選考にあたり、月評担当者全39名の著者があげた「年間ベスト盤」の月評を全点掲載する。

また人気連載「プレルーディウム」(船木篤也)、「トーキョー・モデュレーション」(沼野雄司)、「音符の向こう側」(城所孝吉)の特別編を本ムック書き下ろしで収録。

『レコード芸術』ファンからのリクエストが多い別冊付録「レコード・イヤーブック 2026」も完備。

●目次

【第1回新レコード・アカデミー賞発表】

○大賞・大賞銀賞・大賞銅賞

審査委員長の講評

○部門賞ディスク

部門賞選定理由・受賞アーティストのコメント

○新譜月評執筆者全39名があげた「年間ベスト盤」

○39点の各月評を掲載

○特別賞(企画制作/配信)発表と座談会

【連載書き下ろし(特別編)】

○プレルーディウム 船木篤也

○トーキョー・モデュレーション 沼野雄司

○音符の向こう側 城所孝吉

【インタビュー】

○井上道義ロング・インタビュー

○仲道郁代

○ジョン・ウィルソン ほか

●別冊付録：レコード・イヤーブック 2026

【「レコード芸術 2026」についてのお問い合わせ】

(株) 音楽之友社 営業部

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂 6-30

TEL. 03 (3235) 2151 FAX. 03 (3235) 2148

【レコード芸術 ONLINE 公式 SNS のご案内】

記事の更新情報などを発信しています♪

また、お読みになったご感想を、# レコード芸術 ONLINE を添えてぜひご投稿ください。

